

平成 29 年度第 2 回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 平成 30 年 3 月 23 日(金) 10 時 00 分～12 時 00 分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

3 出席者

(1) 委員

齊藤誠一 委員長・庄司三千子 副委員長・
鎌田貴美枝 委員・十倉典子 委員・青柳洋治 委員

(2) 事務局

小林中央図書館長・大木みやこ図書館長・深堀花見川図書館長・
幸島稲毛図書館長・須田若葉図書館長・深山緑図書館長・中田美浜図書館長・
石井中央図書館情報資料課長・作田中央図書館管理課長・
太田中央図書館管理課担当課長・積田中央図書館管理課企画運営班長

(3) 傍聴人

7 人

4 議 事

(1) 平成 30 年度予算及び事業計画について

5 議事の概要

(1) 平成 30 年度予算及び事業計画について

ア 平成 30 年度当初予算について〔事務局説明〕

イ 平成 30 年度千葉市図書館の事業計画について〔事務局説明〕

ウ ア・イについての質疑応答・協議

→案のとおり承認された

6 会議経過

<開 会>

○中央図書館館長あいさつ

○定足数の確認(図書館協議会委員 5 名の出席をもって成立)

○会議の公開についての説明

○委員長あいさつ

<議 事>

(1) 平成 30 年度予算及び事業計画について

齊藤委員長 それでは、次第に沿って進めて参ります。議事の(1)平成 30 年度予算及び事業計画について、事務局の方から説明をお願いいたします。

作田管理課長 <<平成 30 年度予算及び事業計画について>>説明

太田担当課長 <<図書館における新たな取組について>>説明

齊藤委員長 ありがとうございました。

ただ今のご説明について、何かご意見はありますでしょうか。

十倉委員 当初予算についてお聞かせください。まず、資料費が約 150 万円の減額になっ

ておりますが、その事情をお聞かせください。

それから、緑図書館の管理運営費が、平成 29 年度と比べるとかなり増額していますが、こちらの理由も教えていただきたいと思います。

作田管理課長 まず、資料費についてご説明します。資料 1 ページ目の中段の表になりますが、(内資料費)の項目が、平成 29 年度予算からマイナス 4,439 千円となっております。

資料費は運営の根幹をなすものとして十分認識しております。しかしながら、財政情勢の厳しい中、必要最小限の削減に留めるため、最大限の努力をした結果、9,600 万円弱の資料費予算を確保したところです。

また、緑図書館の管理運営費のところは、緑図書館あすみが丘分館が入っている、土気あすみが丘プラザが大規模改修する関係で、本年の5月28日から、概ね11か月間、来年の4月まで閉館を予定しています。その関係で、図書及び備品の移設、それらを施設外で保管するための委託料として1,800万円程度を、また、それに伴う図書館システムの改修費用が、別に400万円程度必要となり、それらを合わせた形で増額となっております。

十倉委員 説明いただいた事はわかりました。資料費は、たしか昨年度も若干ですが減っていたと思います。毎年積み重なっていったら、資料費が減り続けることは懸念されることなので、減らさないようお願いしたいところです。

それから、一つ説明の中で質問したいのですが、あすみが丘分館の備品等の移設と併せ、委託料1,800万円と伺いましたが、その委託料の中身を教えてくださいませんか。

深山緑図書館長 あすみが丘分館が休館するにあたり、必要とする1,800万の中身についてご説明します。

まず、図書が約7万冊あります。それらを移設・保管しなくてはなりません。通常の備品等につきましては、小学校の空き教室に移動していただくのですが、図書の場合は長期にわたる休館の間、倉庫等で適切に保管していただく管理料、また建物が直った後、これらを持ってきてもらい、元のとおり設置する必要がありますので、これらの搬送等の経費として、1,800万円となっております。

齊藤委員長 それ以外で何かありますか。

鎌田委員 今までですと、図書館がお休みになると、近くの小学校とか他のところで運営していたと思います。今回のあすみが丘分館の場合は、そういうことは一切しないということですか。

深山緑図書館長 あすみが丘分館の近く、土気駅の前に、土気図書室があります。現在、土気図書室は、火、水、土の午後だけ開館しております。それを、あすみが丘分館が休館になりましたら、あすみが丘分館と同じように、火曜日から日曜日まで、9:00～17:15 開館ということで、運営します。

あすみが丘分館より駅に近いのですが、蔵書数やスペースは少なくなります。図書の貸出や返却などについては、分館と同じようにさせていただく体制を取らせて

いただきます。

齊藤委員長 予算の関係のところ、新たな図書館づくりについて“特長ある図書館づくりを総合的に進める”ということですが、今、千葉市として何かこうしたいというものがあるのですか。

そのために調査をする、という流れなのかもしれませんが、そのところの調査の目的も含めて、ご説明いただければと思います。

太田課長 図書館が資料収集・保存、及び市民への情報提供の機能を維持していくことは重要と考えております。

新たな図書館計画におきましては、10年・20年先を見通した、中・長期的な方向性を示していきたいと考えております。具体的な例の一つとしましては、子育て世帯の多い地域には子どもの本を多く取り揃えるなど、地域住民に合わせた蔵書構成とするといった形で、公共図書館の新たなあり方について取り組む方向性を検討していきたいと考えております。

齊藤委員長 サービスプラン2010も、既に策定して10年近くが経っております。是非、策定の際にはご説明いただいたような新たな方向性を模索していただきたいと思えます。きちんと長期的な計画を立てて、図書館サービス、図書館づくりを進めていただければと思います。今回100万円の予算も付いた訳ですから、計画策定に向け、役に立つ調査をしていただきたいと思えます。

それから、事業計画の中で細かい内容で恐縮ですが、図書館評価を行う中で、毎回課題になるのでお聞きします。資料3ページ、一番上の“有料データベース”です。千葉市の図書館では、なかなか導入が進んでいないようですが、この件については予算等どのような状況なのでしょう。

それから、3ページの【方針2】(1)③「課題解決に役立つ情報収集と活用力の育成支援」について、“検索講座”とあります。市民の情報収集活動の支援として、検索講座しかないのでしょうか、それとも、検索講座しかできないのでしょうか。何か、他にやりたい、といったことでもないのでしょうか。伺いたいと思えます。

それから、5ページの「インターネットの特性を活かした情報提供」のところ、ICタグの問題、Wi-Fiの問題というのが出てきております。それらの問題認識について伺いたいと思えます。私も、図書館は資料も大事ですが、インターネットの情報も重要と考えております。そのための環境整備も必要と考えていますので、どこまでの対応を考えているのか、聞いてみたいと思えます。

8ページの【方針5】(1)④「研修・共同事業の実施」、これは具体的な構想等お持ちなのかどうか、お伺いしたいと思います。

最後、10ページの項目3番目に「専門職員の確保と育成に努めます」とあります。私は、図書館は人があってこそだと思っておりますので、是非とも力を入れていただきたい。これは意見です。

何点が細かい点までお話ししてしまいましたが、お答えいただければと思います。

石井情報資料課長 まず、有料データベースですが、昨年度試行的に導入したものは、職

員がレファレンス用に使うデータベースです。今年度も含め、予算確保はされておられません。

今は、使ってみた結果の検証や、県立などでは利用者向けにも導入しておりますので、利用者がどういった形で使っているか、といった調査をしております。この項目についても、電子図書など、利用者が使えるものというイメージだと思いますので、引き続き調査していきたいと考えております。

あと、市民への情報収集に対する支援については、レファレンスの充実として書かれているのですが、既に市民の間でもインターネットを活用した調べものというのが当たり前になってきているのですが、それだけではなく、パスファインダーを拡充し、それを資料等含め PR して、利用者の調べものを支援する取り組みを進めております。

もう一つは小学生に図書館見学の中で調べものについてお話をし、子どもの頃からレファレンスに慣れていただき、図書館は本を読むだけではなく、調べものに役立つということを知っていただき、将来的にも図書館を使っていたりするような環境を、つくり上げていきたいと考えております。

作田管理課長 続きます、IC タグに関してご説明します。昨年度、業者に委託し、中央図書館・移動図書館・みずほハスの花図書館の資料について貼付を進めました。新刊本については、順次進めているところです。

来年度も予算を取っており、今後も IC タグの貼付を順次進めて参ります。Wi-Fi につきましては、重要性は認識しておりますが、なかなか予算取りが難しい状況です。引き続き、導入に向けて検討を進めて参りたいと思います。

石井情報資料課長 続いての「研修・共同事業の実施」についてですが、これは主にレファレンスの部分に関する記述になります。今は、専門的な内容で、回答に時間を要するレファレンスというものが増えており、職員のスキル向上が求められております。

これにつきましては、各館のレファレンス担当を中心に職員が集まり、研修等を実施しているところです。今後も続けていきたいと思っています。

齊藤委員長 それは市内の図書館職員だけなのでしょうか。県立などは関係しないのでしょうか。

石井情報資料課長 レファレンスの部分につきましては、市の図書館のみとなります。その他の著作権処理に関しては経済の部局と連携するなど、図書館だけでなく広く連携しながら行っております。

今年は、図書館と一体となっている生涯学習センターで、講座の開催等をさせていただきました。

齊藤委員長 IC タグにつきましては、既にみずほハスの花図書館で導入・運用が始まっている訳ですから、検証し、利便性が高まるのであれば、是非とも進めていただきたいと思います。

研修・共同事業の実施については、様々な機関とのつながり方があると思いますので、県立などと連携しながら、研修等行っていただくと良いと思います。

他の委員の方、ご意見等いただけますか。

青柳委員 資料 3 ページ、【方針 2】(2)に「だれもが利用しやすい図書館サービスの展開」という項目があります。難しいことなのかもしれませんが、アンケート調査の結果などを見ますと、20 代 30 代の方の利用率が、その上の世代より低くなっております。誰でも利用しやすい環境作りを考える時、利用の少ない比較的若い世代の利用を促進する施策等について、何らかの考えを持っているのでしょうか。

また、新たな図書館計画の策定の中で、先ほどソフト面のサービスについて、事例をご説明いただきましたが、ハード面のサービスも計画には含まれるということなのでしょう。例えば、既存の図書館施設の増築・改修、あるいは新たに整備するなどといった事例も、計画の中に入ってくるのでしょうか。

小林中央図書館長 まず、20 代 30 代の図書館利用が少ないとの件ですが、現状は 20 代 30 代に限らず、長期にわたって利用者数の減少、貸出冊数の減少が続いております。

そういった現状の中で我々が考えているのが、今まで図書館を利用して来なかった人をどう取り込むか、ということです。もちろん、その中には 20 代 30 代の方も含まれています。

地域に密着した図書館ということで、地域で求められている情報を発信できる図書館にして行きたい。それを目指していこうとする中で、例えば何かを調べようと明確な目的を持って図書館に行く人だけではなく、「何か図書館に行けばある」という思いで、利用してもらえようになりたいと考えています。

例えば、調べものがあるけれども、インターネットではどうも調べたい内容まで行きつかない。そういう時に、図書館に行けば何かわかるかも、という発想になってもらえるようにしたいのです。

私も、小学生の間は学校の先生に薦められたりすることで図書館を使っていたのですが、進学・就職等を経て社会人になると、つい図書館の事を忘れてしまっていた状況でした。そういった 20 代 30 代、社会人になり、図書館から遠ざかった人たちに、図書館を思い出してもらえよう、それらの取組を計画の中で作り上げていきたいと考えています。

太田課長 新たな図書館計画におけるハード面の取扱いについてですが、今後 10 年位の間に、老朽化する建物が多くなってまいります。

また、現段階で具体的にどうするかという考えはないのですが、市全体の方針の中では、老朽化した建物は新たに建て替えるというのではなく、複合化した建物にするという流れがあります。それ以外にも、例えば民間の商業施設に図書館を作るといったことも考えていかなければならないと思っています。

あと、三省堂書店そごう千葉店にブックポストを設置しておりますが、サービスポイントとして、貸出と返却に特化した施設とする、といったことも、考えて行きたいと思っております。

青柳委員 このことについてお話したのは、私も図書館を利用してみて、非常に良いとこ

ろだと思ったからです。何しろ無料ですし、知識と情報を得る場所として、非常に貴重な場所です。利用しないともったいないと思います。

最近、中央図書館にもドールができました。本屋さんでもカフェが併設されてきましたが、読書とカフェは非常に相性が良いと思います。

本屋も廃れてきておりますが、それをくい止めるマーケティングとして進められているのだと思います。図書館にカフェが併設されるのは、利用促進のためにも、私は非常に良いと思っています。

齊藤委員長 ご意見と言うことでよろしいでしょうか。是非とも進めていただきたいと思います。他にいかかでしょうか。

十倉委員 サービスで気になっているのですが、ブックポストの設置数が少ないと思います。他市の図書館では、駅の中や、もっと駅に近いところにあったりします。返しやすいということは、借りやすくもあるということですので、今後増やすことは考えていないのでしょうか。

小林中央図書館長 実は、三省堂書店にブックポストを設置する時も、あそこが最も相応しいということで設置した訳ではありません。やはり、まずは設置できる場所、ということで考え、最終的に三省堂書店に置かせていただいた、ということです。

それと、サービスポイントを設けるということは、結局そこに返却された本を回収に行かなくてはならない、ということです。そのためには、かなりの予算がかかります。図書館間の拠点を回り、本の回送を行うための予算として、年間3,000万円位のお金がかかっています。

もちろん、利便性を考えれば、増やせるだけ増やすことが良いのですが、コスト面もありますので、有効な場所を見極め、設置していくことが大事だと考えています。

それも、新しい図書館計画の中で、検討していきたいと思っています。

十倉委員 資料の9ページ、【方針6】(1)①に「ボランティアとしての活動参加」とあります。ボランティアの受入については検討中とのことですが、実施はどうでしょうか。まだまだ先なのでしょう。

作田管理課長 ボランティアの受入については現在も実施しており、例えば子ども読書まつり、図書館見学ツアーでは市民団体や市民のボランティアの協力を得て実施しております。

また、図書館サービスの一部を有償ボランティアの方に協力をいただいております。例えば、障害者の方の音訳協力や、移動図書館の各拠点でお手伝いいただき、内部的にはステーションマスターとして従事いただいている方も有償ではありませんが、ご協力いただいております。今後も、続けてお願いして行きたいと考えております。

齊藤委員長 改めていろいろとお伺いしたいと思います。ここで図書館が実施したアンケート調査について、事務局から速報値ということでご報告いただいております。よろしければ、事務局から簡単に説明をお願いします。

積田管理課企画運営班主査 利用アンケート調査につきましては、先月、2月上旬の1週間、千葉市の図書館～地区館、分館を含めた全15施設で来館者1,980名の

方に配布を行い、回収率 91.8% 1,798 名の方から、回答をいただいております。

全体的には、中央館をご利用いただいている方の比率が高くなっております。利用者特性につきましては、先ほどご指摘いただきましたとおり、50 代以上の方が 5割以上を占めています。また、9 割以上が千葉市在住の方となっております。

質問項目の5番の利用回数ですが やはり定期的に使う方が多く、月 2,3 回程度まで含め 3/4 程度を占めております。

利用目的は、本を借りる・読むことが大部分であり、調べものやブース等の施設利用は 1 割以下に留まっています。利用時間も、ほぼ 1 時間以下の滞在です。

最後、質問項目 10 番の図書館サービス全般の満足度は、満足・やや満足含め 95.1%の方が満足とお答えいただいております。昨年度は 94.4%でしたので、満足度は昨年度より 0.7 ポイント上昇しています。以上です。

齊藤委員長 ありがとうございます。速報値とのことですが、この後、アンケート調査結果はまとめていただけるのでしょうか。

積田管理課企画運営班主査 はい、年度明けにはホームページ等で公表します。

齊藤委員長 こちらの結果で、利用者像がある程度見えてくるかと思えます。

ただ、利用している方へのアンケート結果ですので、問題は利用していない人の状況把握と、図書館のサービスに満足していないとか、このサービスを知らないという方への対応は、必要かと思われれます。

来年度行われる、利用していない人などへのアンケートは、インターネットでされるのですか。

小林中央図書館長 新しい図書館計画を策定する中で、アンケート調査を実施する目的は、正にそのところですよ。利用者アンケートの中で、20代30代は利用されていないとか、調査結果で読み込めるところは、この調査結果で良いと思えます。

しかし、満足している人の割合が 95.1%というのは、利用している人に対するアンケートですから、当たり前のことです。図書館に不満がある方、来ない方はなぜ来ないのかの理由を知らないと意味がありません。インターネット上でアンケートをやっても、結局、図書館に関心のある人が見つけて、回答までしていただけるというところで、大きな違いはないと思われれます。

そのようなことがないように、平成 30 年度に実施予定のアンケートについては、普段図書館に興味持っていない人にも質問が届くよう実施方法を検討していきたいと思えます。

十倉委員 今の説明ですと、今度新たに策定する図書館計画の中でアンケート調査も実施していくということですが、もう少し詳しくお聞かせ下さい。業者に委託してアンケート調査をするということでしたが、具体的にいつ頃、どういった業者がどのような方法でされるのか、教えてください。

太田課長 アンケートにつきましては平成 30 年度前半になると思えますが、民間でアンケート調査を主に行っている事業者とやっていきたいと思えます。

質問項目ですが、行政が求めているような結果に流れることがないように、慎重に

決めていきたいと思います。調査対象ですが、対象に偏りが無いよう無作為に抽出を行います。

調査対象は 3,000 件程度を予定しておりますが、できるだけ回答していただけるよう、郵送でお送りしますが、回答は郵送だけでなく、若い方に向けインターネットでも回答できるなど、できるだけ回答しやすい方法で行いたいと考えております。

十倉委員 利用していない人に聞いていただくのは良いことだと思います。是非とも実施していただきたいと思います。

ただ、そのアンケートとは別に、図書館を利用している人にも聞いてもらいたいと思いますし、また、実際図書館で利用者を相手に窓口対応などをされている職員の方々にも、実際の声をよく聞いていただきたいと思います。

図書館を利用していない方には、業者のアンケートを利用するというのは良いと思うのですが、図書館を利用している方、図書館の中で実際に仕事をされている方にも聞いていただきたい。中央図書館に限らず、地区図書館、こちらのアンケートは入っていなかった公民館図書室も含め、各場所で声を聞いていただきたいと思います。

齊藤委員長 過去の事例を見ていますと、委託事業者によって、アンケート内容や調査結果がかなり変わってきます。業者選定には、注意していただきたいと思います。

是非とも、様々な方の意見を吸い上げていただきたいと思います。

小林中央図書館長 100 万円という、来年度の予算額でお分かりかと思いますが、業者に全面的にお願いできるような金額ではありません。かなり、我々が自分のこととしてアンケート調査に関わらなければ成り立たないと思われま。その点は大丈夫かと思えます。

それから先ほど出ましたが、活力のある組織を維持していくためには、現場の職員も含めた様々な立場の方からの声についても聞いていく必要はあると思っています。100%ご希望に添える形ではないかもしれませんが、全方位的に聞いていきたいと思っています。

齊藤委員長 他はいかかでしょうか。

十倉委員 細かい事で、幾つか質問をさせてください。

まず、資料の 4 ページ、【方針 2】の(2)③「多文化サービス」のところ。実際、私が感じたことですが、協力させていただいた、今年の子ども読書まつりのおはなし会の中で、ミャンマーのお子さん達が、たくさん参加されていました。

花見川地域でのおはなし会では、パキスタン・モンゴル・ペルー・フィリピン・ブラジル・中国その他にも幾つかの国のお子さんが来ていました。小さいお子さんから、小学校 5・6 年生位まで、とてもたくさんのお子さんが来ます。おはなし会は、日本語教室といっしょに開催していて、親が日本語教室に行っている間、子どもたちはおはなし会に参加していることもあります。千葉市にも、様々な国の方々が住んでいることを感じています。

図書館でも、外国語の本のコーナーに行きますと、中国語・韓国語の案内があり

工夫されているようですが、そういう方々へのサービスは、今後ますます必要になってくると思います。

そのことについて、具体的に図書館がどのような考えをお持ちなのか、図書館だけではできない場合、市民との協働が必要になってくると思うのですが、その事に対し図書館がどのように考えているのでしょうか。

あと3つまとめて質問します。資料5ページ、【方針3】(2)②情報発信について、市政だよりのことが書いてあります。今年2月の市政だよりで、図書館の特集が大きい紙面を飾ったのは、大変良かったと思います。

昨年秋から、市政だよりが新聞折り込みではなく、全戸配布になり、多くの方に見ていただけるようになりました。そこに大きく取り上げていただいたのは、良かったと思います。更に、子どもだけでなく大人のイベントですとか、1冊のおすすめ本とか、具体的な面白い記事も入ると、良いかと思いました。

それから、図書館だよりは年2回となり、回数も減ってしまっています。記事の内容も、例えば各地区図書館で情報を発信するなど、地域の方々も交えて、新たな取組ができると良いかと思います。今も、花見川図書館、若葉図書館泉分館などで作成され、ホームページで発信されている広報誌を見ているのですが、ネットだけではなく、様々なところで紙の媒体でも配られると良いかと思います。

それから、資料9ページ【方針6】(2)②「中央図書館見学ツアー」です。今年度は開催されなかったと思われませんが、来年度は実施されるのか、お伺いします。

それから、この中に載っておりませんが、バナー広告についてです。個人的な話になってしましますが、図書館のホームページにあるバナー広告枠を利用したいと思い、図書館に伺ったところ、ホームページを持たないと利用できないとのことでした。

利用料も払うのだし、ホームページがなくても載せていただけないのでしょうか。そのことについて、図書館のお考えがあれば、お聞かせください。

齊藤委員長 幾つかありましたが、図書館からの回答をお願いします。

石井情報資料課長 まず、多文化サービスについてお答えします。外国人利用者に対しては、今現在、英語・中国語・韓国語の利用案内を用意しております。これは、図書館サービスの大きな内容を記したものになります。

それと別にカウンター等の案内対応のため、国際交流課の協力を得まして、日本語と英語を対比させる形の案内冊子を作り、案内カウンターに置いて、外国人の方への案内補助として活用しています。

外国人利用者も増えており、2020年のオリンピック・パラリンピックも控えていますので、今後、中国・韓国語版なども用意していきたいと考えております。

作田管理課長 市政だよりについてです。お話しいただいたとおり、今年2月の市政だよりで特集が組まれました。図書館サービスについて、わかりやすく紹介されているとお声をいただいております。

今回、特集という形で紙面を組むことができましたが、市政だよりの発行は、昨年の10月から、月2回から月1回へと発行回数が減っております。今後、図書館の

特集がどれだけ組めるか分かりませんが、今後も分かりやすく図書館サービスを紹介できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

図書館だよりですが、お話しのとおり、現在年 2 回の発行で、全館共通で作成・発行しているものです。

ご意見いただいたとおり、各地区図書館の情報を載せる方法もあるかと思ひますが、一方で、各地区図書館における情報は、即時性をもって現地で広報していくのがより効果的だと思ひておひます。今後、来年度も年 2 回の発行を予定しておひますが、やり方については、今後検討して行きたいと思ひます。

太田担当課長 「中央図書館見学ツアー」について、お答えします。

夏休みに行く、子どもたちに向けた「親子図書館たんけんツアー」と別に、大人のための図書館見学会で、過去、何人かのボランティアの方に協力いただき、年度末に実施しておひました。今年度は、業務等の関係で、実施は難しい状況です。

来年度の実施については未定ですが、大人のための図書館見学会は、一般の方に図書館を知っていただくためにも良い機会と考へておひます。ボランティアの方に入っただき、実施する方向で検討して参りたいと思ひます。

あとバナー広告については、構成上、図書館のホームページに掲載されたバナーから、会社のホームページなどに飛ぶという形を取っしておひます。

申込される団体、会社で、バナー表示を作成されている方や、ホームページを作成されている方などに、入口として使うものを作っただかないといけないので、そういった方にお願ひし、作っただいた方が良くと思ひます。

来年度から、市の方で一括してホームページ上のバナー広告を募集する予定です。どのような形になるのか分かりませんが、掲載のご要望がありましたら、今後はそちらの方にお問ひ合わせいただければと思ひます。

齊藤委員長 バナー広告自体は今まで同様、クリックしたら該当ページが見られる、ということですか。

太田担当課長 そのとおりです。図書館ホームページに、入口としてのマーク、バナー広告があります。バナーにはリンク先のホームページが必要ですので、私共としては PDF などのデータではなく、リンク先のホームページがないとできません。

十倉委員 多文化サービスの取り組み状況については分かりました。外国人の方々が、図書館に来た時の対応は難しいと思ひます。どのような資料を揃えるのか、どのように貸出サービスを行うのか、そのような具体的などころまで配慮していただけると良いかと思ひます。

それから、図書館見学ツアーは、私も参加者に付いて行っただことがあります。普段見られないところも見られることから、大変良かったとの感想を言われる方が多かったので、来年度は実施していただきたいと思ひます。なお、昨年度は開催しておひます。今年度まだ開催されていないということです。

齊藤委員長 よろしいでしょうか。

鎌田委員 資料 2 ページ、【方針 1】(1)④「公民館図書室のサービス向上のため、選書、

レファレンス、研修等の支援を行います。」との記載があります。これは、公民館図書室が指定管理者制度を導入しても、今までと同様に支援します、ということでしょうか。

また、そのために私たちが望みますのは、図書館に専任の公民館図書室を支援する方がいらしたら、公民館としての指導が上手くいくと思われま。

それから、【方針1】(1)②「計画的な資料の収集」というところです。みずほハスの花図書館の資料数は約2万冊と、非常に少ない状態です。そこで大人の本の展示などをすると、それだけ目立つということになります。早急に蔵書を増やしていただくことを、考えていただけないでしょうか。

それから資料7ページ、【方針4】(2)④「家庭・地域との連携、協力」の2つ目に「子どもの読書習慣を形成するため、大きな役割を担う家庭・地域の団体等に対する図書の貸出と、活動への支援を行います。」とあります。活動への支援というのは、私たち文庫連絡協議会が、図書館内で使わせていただいている場所などの、様々なことと捉えてよろしいですか。

次の項目で、「地域おはなしボランティアの育成及び資質向上を図る」とありますが、これは図書館側の方たちが力を注いでいるのでしょうか。それとも、これはボランティアの方々が独自に行ってくださいということなのでしょうか。

続いて⑤「関係機関との連携協力」のところ、ブックスタート事業に協力することですが、配布する絵本の選書等は、今年度も来年度も図書館がしっかりと関わって行くのでしょうか。よろしく願いいたします。

作田管理課長 まず公民館の関係ですが、4月から指定管理者に運営が移譲されるわけですが、研修等の支援につきましては、引き続き、これまで同様に考えております。

あと、窓口の設置についてですが、実は指定管理者の方で、4月から公民館管理室ということで、新たな組織を立ち上げ、稼働いたします。

そこが中心となり、公民館図書室の取りまとめを行いますので、図書館としましては、管理室との連携を図ることで、これまでと同様の体制を取って行きたいと思っております。

齊藤委員長 管理室というのは市の組織ですか。

作田管理課長 指定管理者側の組織です。そこを窓口として、連携を図って参ります。

太田担当課長 次に、みずほハスの花図書館の蔵書についてお答えします。

昨年度の開館時、2万冊でスタートしております。今年度は、1,000冊購入しております。早く増やして欲しいということですが、購入以外でも、寄付いただいた本を活用したりすることで、あらゆる方法で蔵書の拡充については検討しております。引き続き、購入についても、進めていきたいと思っております。

石井情報資料課長 家庭・地域との連携協力について、お答えします。子ども読書活動の推進のために、団体等に対する図書の貸出、活動の支援、これらに関しまして引き続き取り組んで参りたいと思っております。

おはなしボランティアさんの育成につきましては、もちろん各自でお任せするという

部分もありますが、今まで学校だけにはなしボランティアの方の派遣の案内を出していたところを、今年度、保育所にもご案内させていただき、活動の場を拡げられるよう、こちらで対応させていただいた部分もあります。

次の、関係機関との連携協力、ブックスタートについては、健康部健康支援課の依頼に基づき、協力している内容となります。

来年度は、健康部の方でも4か月健診の方で指導員を養成していて、その中で間に合うというお話も伺っております。今までのように、直接講師等に行っていたいただく必要はないかもしれません。

ただ、依頼に基づいた対応が基本ですが、本の選定等については、今後も関わっていくことになると考えています。

齊藤委員長 他にご意見ありますか。

青柳委員 資料6ページ、【方針4】(1)④「啓発事業の実施」にある、科学あそびについて伺います。

これは、小学校の正規事業にプログラミングが入るという流れがあるということですが、科学あそびの内容は、プログラミングを意識されているのでしょうか。

石井情報資料課長 この取組については、啓発事業の実施が目的ということになっております。この部分については、図書館たんけんツアーなど様々な項目があり、科学あそびについても、図書館独自ということではなく、例えば、子ども読書まつりの中で科学館と連携しながら実施するものが、ここに記載されているものです。

プログラミングを予定しているわけではありません。

齊藤委員長 イベント的に行われる、科学あそびということでしょうか。

石井情報資料課長 はい。イベントの中での、子ども向けの工作等、といった内容です。

齊藤委員長 プログラミングも取り入れられると、非常に面白いかと思います。参考にさせていただければと思います。

十倉委員 先ほどの質問を掘り下げて伺いたいのですが、公民館図書室に対する研修は今まで同様に図書館が行うというお答えでした。

また管理室というのは、公民館の管理室ができるということでしょうか。

作田管理課長 公民館管理室ができるということです。

十倉委員 例えば選書やレファレンスについて、その辺りの図書館の関わりは、どのようになるのでしょうか。

それと、ブックスタートについて、来年度の人的な対応は、もしかしたら健康支援課内で間に合うかもしれないというお答えでした。それは良いことかと思います。

ただ、本を選定し、実際に本を渡すのは、個人的には相対する思いがあります。かなりのお金がかかるのならば、配らなくても良いのではという思いと、せっかく配るのならば、図書館が関わり、良い本を選ばなければならないのではという思いです。

そこが、子どもたちが図書館に関わる始まりというのであれば、健康支援課にお任せすることではなく、是非図書館で本を選んでください。

作田管理課長 まず公民館の関係ですが、選書やレファレンスについて、これまでと同様に

アドバイスし、関わって参ります。ただ、公民館管理室ができますので、そこを通じた形で、行っていくことになると思います。

石井情報資料課長 ブックスタートで配る本についてです。これにつきましても、今までも、健康支援課からの依頼の中で関わってきており、今後も同様に考えています。

健康部の事業になりますので、特にこちらから無理にという訳にはいきません。

ただ、こちらの方で見えていけるものについては見ている、という流れです。

齊藤委員長 事業計画に関しては、よろしいでしょうか。

来年度も図書館評価がありますので、その段階で、それぞれの項目を改めて評価して行きたいと思います。

それでは、この議題に関しては終了いたします。

その他に入ります。後でお話があるかもしれませんが、これからの協議会の予定としては6月に協議会があり、そこで図書館評価を行うという流れになるのかと思います。

事務局から、今後の予定を簡単にお話いただいでよろしいですか。

積田管理課企画運営班主査 次回の協議会についてですが、まず、現行の委員の皆様で平成29年度の図書館評価をお願いしたいと思います。

任期は本年の6月までとなっておりますので、本年6月中に平成30年度第1回協議会を開催したいと考えております。現時点で日程は未定ですが、改めて調整させていただきたいと思います。そこで今年度の図書館評価をお願いし、改選後の7月に入ってから、新しいメンバーの方に、来年度の取組項目等についてご審議等をお願いしたいと考えております。

齊藤委員長 6月に図書館協議会に評価の依頼があつて、そして、市の内部評価が出た段階で何人かの部会員で評価をし、その内容を協議会にかけていく、という流れですね。

積田管理課企画運営班主査 はい。そこまでは現在の委員の皆さまをお願いしたいと思います。

十倉委員 すみませんが、資料の見方について1つ確認させてください。

図書館の管理運営費について、過去どのような推移だったのか見たくなり、統計書「2017千葉市の図書館(平成28年度 利用統計)」を開いたのですが、その11ページに「歳出予算の推移」というのがあります。今回の「管理運営費」は、この表の「報酬」と「賃金」を引けば管理運営費になるのでしょうか。

統計書から、管理運営費を計算する方法を教えてください。

小林中央図書館長 まず、本日の資料でお示ししている、平成30年度の当初予算額744,374千円は、予算項目の款・項・目の図書館費の総額です。

その内訳として各事業科目があり、その中に、中央図書館管理運営費以下、各事業の予算をお示ししています。

今、お話していただいた、統計書の11ページにある予算、これについては一番左上にある、目「図書館費」ということで、図書館管理運営費の総額が書いてあります。

目「図書館費」を事業別に区分すると、本日示した資料に、節で区分すると、統計書の内訳になります。

簡単に、これとこれを差し引くとこれになる、というものではありません。

ただ、私どもとしましては、予算上は款・項・目・節という区分になっておりますので、節ごとに細かくお示してありますが、実態としては事業ごとお示した方が分かりやすいだろうということで、事業別に区分し、提示させていただいています。

齊藤委員長 その他、よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方からお願いします。

小林中央図書館長 2点ほどお伝えします。

まず、先ほどお答えした今後のスケジュールに関連しますが、皆様方の任期は6月末までとなっております。

新たな公募委員につきましては、現在と同様2名の方を選任するため、5月の市政だよりに掲載要項等掲載いたしますので、ご報告させていただきます。

それからもう一点ですが、この3月を持ちまして、みやこ図書館長の大木、花見川図書館の深堀、稲毛図書館の辛島が退職となります。少々お時間いただきましてご挨拶をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

《3館長あいさつ》

齊藤委員長 3人の館長様、本当にありがとうございました。

他にはよろしいでしょうか。議事が終了しておりますので、これで協議会のほうは終了させていただきます。進行にご協力いただきましてありがとうございました。事務局にお返しいたします。

事務局進行 以上を持ちまして、平成29年度第2回図書館協議会を閉会いたします。

なお、議事録につきましては、事務局にて議事録案を作成し、委員長のご承認をいただいたうえで確定とさせていただきます。

本日は、長時間にわたり慎重なご審議をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081